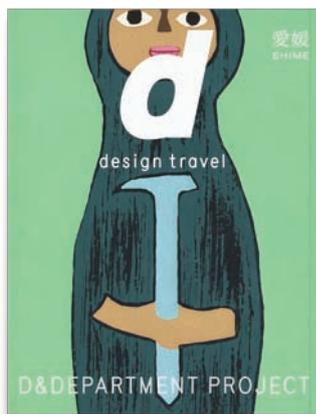


デザイン目線で旅するガイドブック『d design travel 愛媛』 4月3日(金)全国発売

東京・渋谷ヒカリエと愛媛県内で、見て・買って・食べて・笑って… “愛媛らしさ” を体験できる企画が盛りだくさん!

D&DEPARTMENT PROJECT (商号:ディアンドデパートメント株式会社)が制作する、「ロングライフデザイン(その土地に長く続く個性)」を編集テーマに据えた、47都道府県の観光を、1県につき1冊ずつ特集する、観光ガイドブックシリーズ『d design travel(ディ デザイントラベル)』の27冊目となる「愛媛号」が、2020年4月3日(金)全国発売となります。発売に際し、展覧会や編集部によるトークショー、愛媛の食を味わう企画や落語会など、本誌を立体的に楽しめる連動企画を、東京の渋谷ヒカリエと愛媛県内で開催。ガイドブックを軸に、様々な体験を通して、愛媛県の個性を伝えていきます。



『d design travel 愛媛』のつくり方、たのしみ方

1、地元住民や、旅・デザイン好きの一般参加型による編集スタイル

昨年11月、公募で集まった約40名で「愛媛らしさ」をディスカッション。取材候補地を挙げる公開編集会議で制作をキックオフしました。SNSで制作過程をシェアしながら、県内外からリアルタイムで情報を寄せていただきました。

2、「まずは、いち旅人として体験する」覆面取材

1月までの約2ヶ月間、編集部は現地に住み込み、250箇所以上を巡り、「これぞ愛媛!」と感動したものだけを選定。選定後に初めて取材申し込みを行ないました。

3、“体験してこそ”の愛媛号

東京・渋谷ヒカリエ「d47」と愛媛県内で、トークショーやスタンプラリー、落語会など、本誌だけに留まらない様々な企画を展開します。



穏やかな“風”のように、揺るぎないもの。

愛媛は、観光にすることなく、真摯に“ものづくり”を続けてきたことで、自分らしさを守ってきた。海も山も街も、穏やかな風のような時間が、蓄積して生まれた平和な世界。外からの者も、心が浄化され、透き通った“愛媛色”に染まっていく。ゆつくりと流れるこの何でもない時間が、何よりも豊かなのだ。

『d design travel』編集長 神藤秀人

『d design travel 愛媛』概要

- 定価 1,900円+税 / ●出版元 D&DEPARTMENT PROJECT
- 発売日 2020年4月3日(金) ※3月6日(金)よりd47及びD&DEPARTMENT各店ほかにて順次先行発売
- 様式 B5変形判、192ページ、フルカラー、日英併記
- 販売場所 全国の書店・ライフスタイルショップ・ミュージアムショップ・Amazon・D&DEPARTMENT各店
- 表紙 『若者』 畦地梅太郎 (1902年-1999年)

『d design travel』は、2009年創刊。これまでに、北海道、岩手、富山、京都など26都道府県を発刊している。毎号、地域住民との公開編集会議を皮切りに、約2ヶ月間の現地取材を行う。各号の取材と、東京と特集県内で連動するイベントを通して、47都道府県の独自の個性を改めて整理し、発信することで、主要都市だけでなく、日本各地にあるその土地らしいクリエイションを見つめ直し、その価値を継承する意識を持つきっかけを与える、これまでのトラベルガイドには無い機能をもつ書籍として展開している。

本件の画像は以下 URL よりダウンロード可能です。ご使用の際はご一報ください。 <https://bit.ly/39oH4mu>

- 本件に関するお問い合わせ - D&DEPARTMENT PROJECT 広報 清水睦
tel:03-6427-2301 fax:03-3797-1721 email:pr@department.jp

● d design travel 編集、7つの考え方

1. 必ず自費でまず利用すること。実際に泊まり、食事し、買って、確かめること。
2. 感動しないものは取り上げないこと。本音で、自分の言葉で書くこと。
3. 問題があっても、素晴らしければ、問題を指摘しながら薦めること。
4. 取材相手の原稿チェックは、事実確認だけにとどめること。
5. ロングライフデザインの視点で、長く続くものだけを取り上げること。
6. 写真撮影は特殊レンズを使って誇張しない。ありのままを撮ること。
7. 取り上げた場所や人とは、発刊後も継続的に交流を持つこと。



※中ページイメージ（愛知号）

● 取材対象選定、5つの考え方

1. その土地らしいこと。
2. その土地の大切なメッセージを伝えていること。
3. その土地の人がやっていること。
4. 価格が手頃であること。
5. デザインの工夫があること。

● 主な内容：d マークレビュー

『d design travel』最大の見どころ。観光、レストラン、買い物、カフェ、宿、人、の6つのカテゴリーごとに最大4箇所ずつ厳選し、その土地を代表する、ロングライフなスポットや取り組みを掲載しています。



SIGHTS
観光

その土地らしさを感じる観光スポットで、メッセージ性があり、長く続いている場所。

- ・道後温泉本館（松山市）
- ・宇和米博物館（西予市）
- ・畦地梅太郎記念美術館（宇和島市）
- ・南岳山 光明寺（西条市）



CAFES
カフェ

伝えたいメッセージを持つオーナーによる、その土地らしいカフェやバー。

- ・サントリーバー 露口（松山市）
- ・ムスタキビ（松山市）
- ・こけむしろ（西予市）
- ・遠見茶屋（今治市）



RESTAURANTS
レストラン

地域の食材を使い、地元の人がやっていて、美味しいだけでなく、デザインを感じる食事処。

- ・鯛や（松山市）
- ・マルブン 小松本店（西条市）
- ・いかだ屋（宇和島市）



HOTELS
宿

その土地らしさを体感できる建築やサービスによる宿泊施設で、価格も適正であるホテルや旅館。

- ・瀬戸内リトリート青凧（松山市）
- ・木屋旅館（宇和島市）
- ・大三島 憩の家（今治市）
- ・道後館（松山市）



SHOPS
買い物

地域の特性を活かしたお土産を購入できる店。

- ・コンテックス タオルガーデン 今治（今治市）
- ・梅山窯（伊予郡）
- ・ひなのや 松山三番町店（松山市）
- ・リモーネ（今治市）



PEOPLE
人

地域のキーパーソンで、文化創造や地域活性に繋がる活動を積極的に行っている人物。

- ・池内計司 (IKEUCHI ORGANIC)
- ・松波雄大 (THE 3rd FLOOR)
- ・二宮新治 (ニノファーム)
- ・工藤省治 (春秋窯)

● 特集

- ・砥部のデザイン-愛媛県の産地を巡る旅-／研ぎ石「伊予砥」を産し、その職人たちを“造部（つくりべ）”と呼んでいたことから「砥部」。今も盛んにつくられる「砥部焼」に見る砥部ならではのデザインが出来るまでの並ならぬ努力を紹介。
- ・“今治タオル”とは何か?-愛媛県のブランド-／今ではコンビニでも購入できる「今治タオル」。タオル産地・今治を訪ね、タオルそのものの歴史から、タオルに込められた職人たちの思い、タオルにかける未来の暮らし…。タオルの可能性を紐解く。
- ・無茶々園-奇跡のような園地-／環境破壊を伴わず、健康で安全な食べ物の生産を通して、真のエコロジカルライフを求め、町づくりを目指す運動体「無茶々園」。そもそも、なぜ愛媛県がみかんの産地となっているのか。その理由と、無茶々園の取り組みを伺いに明浜町を訪ねました。

● 連載

- ・深澤直人（プロダクトデザイナー）／デザイナーのゆっくりをききたい「真面目に美しいふつう」
- ・坂本大三郎（山伏）／47都道府県にあるロングライフな祭り 愛媛県「一遍上人と柳宗悦」
- ・高木崇雄（工藝風向 店主）／47都道府県の“民藝” 愛媛県「コミュニティ」

その他、編集部が見つけたその土地では当たり前となっている独特な習慣を紹介する「愛媛のふつう」や、「愛媛定食」開発から感じた県独自の食文化、滞在取材を経て見聞きし体験したその土地らしさを綴る「編集部日記」など、掲載地はおよそ70箇所。さまざまな切り口から“愛媛らしさ”を伝えます。

● 連動企画

1. 本誌を立体的に表現する展覧会「d design travel EHIME EXHIBITION」

掲載地で実際に使用されている仕事道具や備品、装飾品などを展示し、現地の魅力を再現する展覧会です。詳細はプレスリリース最終頁をご覧ください。

2. 郷土の味をぎゅっと詰め込んだオリジナルメニュー「愛媛定食」が登場

d47食堂の料理人が愛媛県を旅して、名物や伝統料理を食べ歩き、生産者に取材して開発した定食が、期間限定で登場。郷土料理・日向飯（鯛めし）をはじめ、じゃこ天、みがらし、石鯛黒茶、みかんなどが並びます。提供期間：3月4日(水)-6月2日(火) 予定 11:30-23:00(14:30-18:00のカフェタイムを除く、21:30 L.O.) 予価：1,750円（税込）／場所：d47食堂（渋谷ヒカリエ8F）／電話：03-6427-2303

3. 愛媛号の制作トークと愛媛の食を一度に楽しめるパーティー

編集部が本誌と連動企画にまつわる制作裏話を、取材時に撮りためた写真などを見せながら語りつくすトークショーと愛媛ならではの食やお酒などと共に参加者全員で楽しむ交流会を開催します。詳細はwebで公開しています。東京開催 日時：未定／場所：COURTおよびd47食堂にて（渋谷ヒカリエ8F）

4. 編集部の足取りをたどる「d編集部の愛媛ぐるぐる」

本誌掲載の「dマーク」各地に愛媛号を持参すると、オリジナルスタンプが押せるスタンプラリーです。期間：3月14日(土)-6月1日(月) 予定

5. 愛媛県をテーマにした創作ご当地落語を披露「d47落語会 愛媛県」

落語家・柳家花緑が、脚本家・藤井青銅書き下ろしの新作となる愛媛落語を、洋服で椅子に座り現代の言葉で演じる「同時代落語」のスタイルで披露します。『d design travel』発行人のナガオカケンメイを聞き手に、2人が愛媛落語の誕生秘話を語るアフタートークと合わせて、愛媛の魅力を笑いを通して感じられる企画です。

演目：古典落語1席、愛媛落語1席、アフタートーク

・東京会場 日時：3月26日(木)、27日(金) 20:00-22:00／場所：COURT（渋谷ヒカリエ8F）
・愛媛会場 日時：4月9日(木) 19:00-21:00／場所：内子座（愛媛県喜多郡内子町内子2102番地）
料金：前売り¥3,000、当日¥3,500（税込）／予約：web、会場店頭、愛媛会場のみ電話予約も可能（d47:03-6427-2301）
詳細：https://www.d-department.com/item/D47_RAKUGO.html／問合せ：03-6427-2301（d47）

6. 愛媛号発売記念トークイベントの県内開催を予定

旅と編集の舞台裏を振り返りながら、よそ者の視点で愛媛らしさをどのように見つけていったか、愛媛にしかない魅力を再発見しながら旅する楽しさなどをお話する、編集長によるトークイベントを企画中です。詳細はwebで公開していきます。

● 『d design travel』バックナンバー

'09年 vol.1 北海道	'13年 vol.11 富山	'17年 vol.21 埼玉
'10年 vol.2 鹿児島	'14年 vol.12 佐賀	vol.8.2東京
vol.3 大阪	vol.13 福岡	vol.5.2静岡
vol.4 長野	vol.14 山形	vol.22 群馬
'11年 vol.5 静岡	'15年 vol.15 大分	'18年 vol.23 千葉
vol.6 栃木	vol.16 京都	vol.2.2 鹿児島
'12年 vol.7 山梨	vol.17 滋賀	vol.24 岩手
vol.8 東京	'16年 vol.18 岐阜	'19年 vol.25 高知
'13年 vol.9 山口	'16年 vol.19 愛知	vol.26 香川
vol.10 沖縄	vol.20 奈良	



● D&DEPARTMENT PROJECT（ディアンドデパートメントプロジェクト）とは

2000年にデザイナーのナガオカケンメイによって創設された「ロングライフデザイン」をテーマとするストアスタイルの活動体。現在は国内外に10店舗（北海道、埼玉、東京、富山、山梨、京都、鹿児島、沖縄、韓国ソウル、中国黄山）を展開。47都道府県に1か所ずつつくりながら、全国的な規模で「息の長いその土地らしいデザイン」の発掘と紹介をしている。2009年『d design travel』創刊、2012年渋谷ヒカリエ8階に47都道府県の魅力を展示する日本初のデザイン物産ミュージアム「d47 MUSEUM」をオープン。併設の「d47 design travel store」「d47食堂」と連動し、立体的に日本を伝える新しいスタイルを創造。物販、飲食、出版、観光を通して47の日本の“らしさ”を見直す活動を展開している。

愛媛県の個性を「デザイン」と「旅」の視点から見る展覧会 3/6(金)-6/1(月)開催!



名称 d design travel EHIME EXHIBITION
 会期 2020年3月6日(金)～6月1日(月) 11時～20時 入館は19時30分まで ※会期中無休
 会場 d47 MUSEUM (ディ ヨンナナ ミュージアム) 東京都渋谷区渋谷2-21-1 渋谷ヒカリエ8階
 入場料 無料 / 主催 D&DEPARTMENT PROJECT
 電話 03-6427-2301 (d47 MUSEUM) / URL www.d47museum.com

d47 MUSEUMでは、3月6日から6月1日まで「d design travel EHIME EXHIBITION」を開催します。デザイン目線で日本各地の長く続くその土地らしい個性を案内するトラベルガイドブック『d design travel 愛媛』の4月3日(金)全国発売を記念し、誌面だけでは収まりきれない現地の魅力を立体的に伝えます。

編集部が徹底取材した“その土地らしさ”を、現地で実際に使用されている仕事道具や備品、装飾品などを展示し再現します。例えば、表紙にもなった蛙地梅太郎氏の『若者』の原画や本人が使用していた版画道具、「無茶々園」のみかん収穫道具、「梅山窯」の砥部焼や作陶道具、「こけむしろ」からは本物の苔がやってくる!?!など、さまざまな展示を予定しています。誌面から飛び出したような数々の展示品の独自のデザインから、編集部が、歩き、見聞きし、食べた“愛媛の今”を感じ取って、その魅力を再発見し、実際に愛媛県を旅したくなるきっかけをつくります。

会場では全国発売に先駆け、愛媛号を先行販売します。先着で、編集長が手書きで作成した『らくがきMAP』をプレゼント。本誌には載りきらなかった情報などもお見逃しなく。また、編集部おすすめの愛媛の手土産が買える期間限定ストアが登場。みかんジュースやリモンチェッロ、宇和米、ポン菓子、別子飴などの美味しい手みやげから、砥部焼や今治タオルまで購入できます。併設のd47食堂の新メニュー「愛媛定食」も合わせ、本を読み、展示を見て、商品を手にとり、郷土料理を食べ…と、愛媛の魅力を五感を通して感じられる企画です。

会期中には、編集部が取材や展示の舞台裏を語るトークショーと、愛媛の食が堪能できる交流会がセットになった「d design travel showと愛媛を食べる会」を開催予定のほか、愛媛をテーマにした新作落語を披露する「d47落語会 愛媛県」も開催。渋谷のど真ん中に居ながら愛媛らしさを体験できる企画を開催していきます。関連企画の詳細は随時webやSNSで発信していきます。

「d47 MUSEUM」は、2012年4月26日、渋谷ヒカリエ8階に、日本初の“47都道府県デザイン物産ミュージアム”としてオープン。建築、デザイン、工芸、食、ファッション、農業、自然環境など、あらゆるジャンルからテーマを選び、オリジナルのキュレーションと編集で、世界に向けて“日本の今”を発信していきます。